（様式１）

自　己　評　価　票

作成日　　平成23年6月5日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870300852		
法 人 名	池田観光開発株式会社		
事業所名	グループホーム鶴沼の里（1）	ユニット名	Ｂ棟
所 在 地	〒　　300－0012 土浦市神立東2丁目21-22		
自己評価作成日	平成　23年6月5日	評価結果 市町村受理日	平成　　年　　月　　日

※　事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所 在 地	〒310－8586 水戸市千波町１９１８番地　　茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成　　年　　月　　日	評価確定日	平成　　年　　月　　日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

①近くに鶴沼があり、遊歩道を散歩でき、自然と触れ合うことができる。②自立支援と明るく家庭的な介護。③無農薬の吟味された食材。④自宅の延長のようなゆったりとした当り前の生活。⑤入居者様一人ひとりの状態を観察、内服薬を減らすよう主治医と連携をとりながら、進め自分らしく生活して頂く支援。⑥笑顔が輝いている笑いのある毎日を過ごして頂く支援。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

自己評価	外部評価	項　　目	自　己　評　価 実　施　状　況
	Ⅰ	理念に基づく運営	
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	①その人らしいあり方。②個別ｹｱ。③地域の交流。を理念をあげ、一人ひとりを理解し、その人らしい生活を支援している。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今回の大震災には、地元のスーパーの人達に助けて頂いた。全店シャッターを降ろしてしまった中、ホームの名前を告げて、食料品を調達することができた。ガソリンも社有車に限り、援助して下さった。理髪店等すぐ近所からお願いしている。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	小学校の運動会・市民体育祭、選挙投票等を通して、発進している。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	活かしている。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	常に連携を取り、相談しながら、協力して頂いている。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について、全スタッフで学んでいる。一部やむを得ない場合、その日の身体状況、時間等に限り、出来る限りしないケアに取り組んでいる。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	徹底している。

自己評価	外部評価	項　　目	自　己　評　価 実　施　状　況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全スタッフで学ぶ機会は無いが、必要な関係者には説明、話し合いしている。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	本社にて行っている。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者さんからは、入浴やお手伝いをして頂いている時や家族はコミュニケーションをとり、何でも話せる雰囲気作りに心がけている。運営推進会議もその一部である。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回全体ミーティングをおこなっている。 代表者からは、何かありませんか？と意見を求められているので、反映されている。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	本社が対応している。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	選択をして、研修に参加している。必要最小限なので、もう少し受ける機会を確保して欲しい。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	ケアマネが地域密着型サービス連絡会に交流あるが、職員まではそういう機会がない。

自己評価	外部評価	項　　目	自　己　評　価 実　施　状　況
Ⅱ　安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントから始めるが、五感を持って本人を見る、理解する、よりよい関係作りが築かれる。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	十分努めている。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	日々の様子を家族から聞き取り、本人の思いを一番にチームケアで、対応している。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来ることはして頂き、尊重する。言葉かけを多くし、親しみのある関係づくりをして行く。「俺の隣に寝ろ」夜勤時等心配して下さる。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族の間に立って、よりよい関係が築けるよう支援している。又、職員も本人と家族に支えて頂いている。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも面会に来て頂いても良い雰囲気作り、行事等も含めて家族と一緒に参加される。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーション等を行い、一人にならないよう支援する。席などは、気の合ったグループができるので、孤立しないよう支援する。

自己評価	外部評価	項　　目	自　己　評　価 実　施　状　況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	別の施設に移った昨年報告した方の家（豆腐店）より今年度からは、豆腐、油揚げなど注文、納品して頂いている。地域や関係を大切にしている。
Ⅲ　その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	思いや暮らし方の希望は、伝えられる人の話しは希望に沿って、困難な方には安心して生活して頂けるよう支援している。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族より、身体状況、生活歴、暮らし方等は入所時細かく説明又は文書で頂いている。分かる人は本人も少しずつ伝えて下さっているので共有している。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	１日２回朝と夕の申し送りを行い、注意点、新しい変化については、全体申し送りノートにに記録し全体で把握していく。、
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリング・再アセスメントを行い、月１回ケースカンファレンスを開き、意見やアイデアを出し合い、計画作成に反映している。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録に記入、申し送り時にも記録し活かしている。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出したい時、活発に運動がしたい時、家族との外出、面会その他ニーズに沿って対応している。

自己評価	外部評価	項　　目	自　己　評　価 実　施　状　況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	支援している。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望の希望するかかりつけ医との連携を大切にしている。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	十分活用・支援して頂いている。ノートを作り、全員で共有できるようにしている。震災時には夜間帯ずっと巡回して頂いた。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院してからも、出来るだけ利用者様を見舞い病院関係者と連絡を密にし、早期退院に努めている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りの指針を家族に説明、署名して頂いている。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命の訓練を実施している。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難については、先日の大震災時に充分役に立ち発揮できたと思われる。地域との協力体制は水の支援などを頂いた。

自己評価	外部評価	項　　目	自　己　評　価 実　施　状　況
Ⅳ　その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全職員が気を付け、まず言葉かけ等があった際、注意するようにしている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	皆さん自分の意志が大変強い。表出しやすい環境である。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	嫌なら、自分の居室に行ってしまったり、自分のしたい事も言葉に出来る。食事も誰も同じ時間にとれない場合等も多々ある。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	２ヶ月に一度、理容室より来て頂いたり、自分の行きつけのパーマ屋さんに行ったりしている。身だしなみについては、援助している。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	身体的に出来る方にはお手伝いをして頂き、食事はＴＶなどは付けず、音楽を取り入れ会話をしながら、楽しい食事にしている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分・体重等の記録をしっかり行い、一人ひとりの支援に役立ててている。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後は、口腔ケアを行い、就寝前には入れ歯の消毒をして休んで頂く。

自己評価	外部評価	項　　目	自　己　評　価 実　施　状　況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレ通いの頻回な人には尿とりパットを使用し、時間を決め、誘導、失敗を少なくしている。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	バナナ等のフルーツをメニューに多く取り入れ、さつま芋、牛蒡等の根菜類を汁物に多く使用している。ラジオ体操も毎日実施、身体を動かすようにしている。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴時間は決まっているが、本人の入るタイミングに合わせて、本人と合意の上で行なっている。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転傾向が何人かに見られるが、本人の状況・体調に合わせ日中でも休んで頂く事がある。昼寝タイムは設けている。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的・副作用は理解しているが、用法・用量はあくまでも医師の指示通り行っている。支援はミスのないよう、何回もチェックを行うようにしている。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりに合った力の活かし方を見つけ、楽しく過ごして頂けるようにしている。食器拭き人、洗濯物を干す人、たたむ人ジャガイモの皮をむく人、雑巾を縫って下さる人等。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	①自由に買い物、美容室等外出される方もいる。②外に出る事を勧めるが、行きたがらない人もいる。③こちらで計画して出来るだけ外に出掛けるように心掛けている。

自己評価	外部評価	項　　目	自　己　評　価 実　施　状　況
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金をとっても大切に思って自分で管理している人もいるので、思いに沿って支援している。欲しい物があれば、可能である。
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は自由である。先方からかかった場合も変わってお話して頂くようにしている。手紙は書ける人は、宛名は書いてあげている。
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	配慮されている。季節感を取り入れた掲示物ひな祭り時は、ひな段飾り、七夕飾り、クリスマツリー等四季折々を楽しむ工夫をしている。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個室でプライバシーが守られ、ホールと個室を自由に活用している。ホールでの席なども観察して気の合った人達と過ごせるようにしている。
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の自由意志を尊重して、好きなように配置し、職員が勝手には動かさない。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	見守りを重視して、自由に行動して頂いている。

	Ⅴ　アウトカム項目	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 （参考項目：23,24,25）	○ 1,ほぼ全ての利用者の 2,利用者の2/3くらいの 3,利用者の1/3くらいの 4,ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 （参考項目：18,38）	○ 1,毎日ある 2,数日に１回程度ある 3,たまにある 4,ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 （参考項目：38）	○ 1,ほぼ全ての利用者が 2,利用者の2/3くらいが 3,利用者の1/3くらいが 4,ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている （参考項目：36,37）	○ 1,ほぼ全ての利用者が 2,利用者の2/3くらいが 3,利用者の1/3くらいが 4,ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：49）	1,ほぼ全ての利用者が 2,利用者の2/3くらいが ○ 3,利用者の1/3くらいが 4,ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 （参考項目：30,31）	○ 1,ほぼ全ての利用者が 2,利用者の2/3くらいが 3,利用者の1/3くらいが 4,ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 （参考項目：28）	○ 1,ほぼ全ての利用者が 2,利用者の2/3くらいが 3,利用者の1/3くらいが 4,ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 （参考項目：9,10,19）	○ 1,ほぼ全ての家族と 2,家族の2/3くらいと 3,家族の1/3くらいと 4,ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 （参考項目：9,10,19）	1,ほぼ毎日のように 2,数日に１回程度ある ○ 3,たまに 4,ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 （参考項目：4）	1,大いに増えている ○ 2,少しずつ増えている 3,あまり増えていない 4,全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 （参考項目：11,12）	1,ほぼ全ての職員が ○ 2,職員の2/3くらいが 3,職員の1/3くらいが 4,ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1,ほぼ全ての利用者が 2,利用者の2/3くらいが 3,利用者の1/3くらいが 4,ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1,ほぼ全ての家族等が ○ 2,家族等の2/3くらいが 3,家族等の1/3くらいが 4,ほとんどいない